

事務事業評価事業一覧表(令和5年度決算)

一般会計

事務事業番号	款 項		事業名	担当部署	事業の評価	ページ
	款	項				
	土木費	土木管理費	土木総務費			
08010101	土木車両整備事業			維持課	A	328
	土木費	土木管理費	建築指導費			
08010201	マイホーム建設促進特例融資事業			都市建設部総務課	B	329
08010202	住宅耐震・リフォーム支援事業			建築指導課	B	330
08010203	住宅リフォーム促進事業			建築指導課	A	331
	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう維持費			
08020101	雪氷対策費			維持課	A	332
	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費			
08020201	社会資本整備総合交付金事業(道路整備事業)			維持課	A	333
08020202	単独道路舗装事業			管財課、道路建設課	A	334
08020203	単独道路新設改良事業			維持課	A	335
08020204	特定防衛施設周辺調整交付金事業			維持課	A	336
08020205	単独道路交通安全対策事業			道路建設課、学校教育課	A	337
08020206	再編関連訓練移転等交付金事業(道路整備事業)			道路建設課	A	338
08020207	道路メンテナンス補助事業			道路建設課	A	339
	土木費	河川費	河川改良費			
08030201	単独事業(河川整備事業)			維持課	A	340
	土木費	都市計画費	都市計画総務費			
08040101	地籍調査事業			開発管理課	A	341
	土木費	都市計画費	公園維持費			
08040201	公園施設補償金			緑地公園課	A	342
08040202	公園施設電気料金高騰支援補償金			緑地公園課	A	343
08040203	オートリゾートセンターハウス・温浴施設等電気料金高騰支援補償金			緑地公園課	A	344
	土木費	都市計画費	公園整備費			
08040301	社会資本整備総合交付金事業(公園整備事業)			緑地公園課	A	345
08040302	単独事業(公園整備事業)			緑地公園課	A	346
08040303	空港周辺環境対策事業			緑地公園課	A	347
08040304	再編関連訓練移転等交付金事業(公園整備事業)			緑地公園課	A	348
	土木費	都市計画費	緑化推進費			
08040401	森林整備事業			緑地公園課	A	349
08040402	緑の基本計画事業			緑地公園課	A	350
08040403	市有林整備事業			緑地公園課	A	351
08040404	森林環境譲与税基金積立金			緑地公園課	A	352
08040405	森林環境譲与税基金活用事業			緑地公園課	A	353
08040406	緑化推進基金積立金			緑地公園課	A	354
	土木費	市営住宅費	住宅建設費			
08050101	集会所電気料金高騰支援補償金			住宅課	A	355
	土木費	市営住宅費	住宅建設費			
08050201	住宅建設事業【継続事業】			住宅課	A	356
08050202	除却事業			住宅課	A	357
08050203	住宅改善事業			住宅課	A	358
08050204	熱供給設備等改修事業			住宅課	A	359
08050205	日新団地熱源改修事業			住宅課	A	360

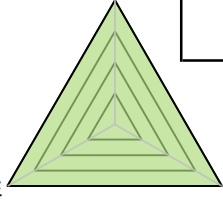
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 01土木総務費

事務事業番号 08010101

事業名		土木車両整備事業		担当部署	都市建設部 維持課						
根拠法令		道路法									
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	有効性  公平性 効率性	A				
	予算・決算額(A)	42,847	42,847	81,000							
	(A)の内訳										
	国道支出金										
	地方債	42,800	42,800	81,000							
	その他										
	一般財源	47	47								
人件費(B)	2,145	2,145	2,145								
事業費計(A+B)	44,992	44,992	83,145								
事業の目的		土木車両（ロータリ除雪車、道路維持作業車）の老朽化に伴う更新です。									
事業の内容 SDGs17の目標 		1 夏季の郊外路線の路肩草刈、冬季の除雪作業を行うロータリ除雪車を更新しました。 正面  側面  2 通年で道路補修作業を行う道路維持作業車を更新しました。 正面  側面 									
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度					
		土木車両の更新	台	2	1	1					
項目評価		高 → 低	評価の理由								
		4 3 2 1									
		有効性					●				土木車両は、道路交通を確保し、市民の暮らしを守るために必要であり、市民の安全・安心な生活に大きく寄与しているため、「4」としました。
		効率性					●				老朽化した土木車両の更新を図ることで、維持管理費の抑制及び車両の安全性が向上することができたため、「4」としました。
公平性	●				市民の安全・安心な生活を守るためには、土木車両整備は必要不可欠であり、今後も継続して実施していく必要があるため、「4」としました。						
事業の課題 今後の方向性		今後も、市所有の土木車両整備を引き続き行い、安定的な道路維持が遂行され、市民の安全・安心な生活を守るよう整備を進めてまいります。				事業終了の 予定の有無 無					
特記事項											

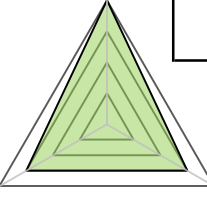
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010201

事業名		マイホーム建設促進特例融資事業		担当部署	都市建設部 総務課											
根拠法令																
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	有効性  公平性 効率性	総合評価 B									
	予算・決算額(A)	55,400	49,900	63,500												
	(A)の内訳															
	国道支出金															
	地方債															
	その他	55,400	49,900	63,500												
	一般財源															
人件費(B)	72	72	72													
事業費計(A+B)	55,472	49,972	63,572													
事業の目的		国の景気浮揚策に連動した経済活性化対策の一環として、市民の持ち家建設を促進し、住環境と福祉の向上を図るため、市内金融機関の協力を得て平成11年から13年にかけて実施した事業です。														
事業の内容 SDGs17の目標  11 住み続けられるまちづくりを  12 つくる責任 つかう責任		融資の受付は既に終了しましたが、市民に融資を行った金融機関に対する預託事業は継続しています。 事業の内容は、金融機関の貸付残高に協調倍率（市の預託金と金融機関資金の割合）を乗じた金額を4月に預託、以後、毎月の返済額に応じて預託金の追加又は戻入を行い、年度末に預託金を全額返還させるというものです。 また、年度当初の協調倍率は1月末時点の長期プライムレートにより決定しますが、7月末時点のレートに当初比で±0.3%以上の増減があった場合は、10月に協調倍率を変更し、預託金の調整を行います。 令和6年3月報告に基づく金融機関融資状況と令和5年度預託実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>金融機関</th> <th>融資件数</th> <th>貸付残額 (千円)</th> <th>協調倍率 (市：金融機関)</th> <th>預託額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苫小牧信用金庫 ほか7行</td> <td>202</td> <td>348,042</td> <td>1：5.9</td> <td>49,900</td> </tr> </tbody> </table>					金融機関	融資件数	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)	苫小牧信用金庫 ほか7行	202	348,042	1：5.9	49,900
金融機関	融資件数	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)												
苫小牧信用金庫 ほか7行	202	348,042	1：5.9	49,900												
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度										
		預託額（決算額）	円	49,900	16,600	22,800										
項目評価		高 → 低	評価の理由													
		4 3 2 1														
有効性		●				約1,200件の利用があり、市民の持ち家建設の促進が図られました。また、融資を行う金融機関の負担軽減に必要な事業であることから、「4」としました。										
効率性			●			預託金は全額戻入されるため市の財政的な負担はほとんどありません。一方、融資の償還期限まで預託を行うため、事務処理が長期に亘ることから、「3」としました。										
公平性			●			対象が本事業を利用して融資を受けた市民に限定されることから、「2」としました。										
事業の課題 今後の方向性		市民に融資を行った金融機関の負担軽減のため、今後も必要な事業です。														
		事業終了の 予定の有無														
		有 (令和19年度)														
特記事項		当初、融資の返済期限は最長で25年でしたが、金融円滑化法の施行に伴い11件で返済期間の延長が行われ、現在は最長で令和19年までとなっています。														

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010202

事業名			住宅耐震・リフォーム支援事業		担当部署		都市建設部 建築指導課				
根拠法令											
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)		16	15	11	有効性 公平性 効率性		B			
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他									
		一般財源	16	15	11						
	人件費(B)		72	72	72						
事業費計(A+B)		88	87	83							
事業の目的			この事業は、平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用して金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を利子補給金として補助することを目的とします。								
事業の内容			SDGs17の目標								
11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任			平成21年度から平成23年度に実施した事業で、住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助する事業です。（融資限度額500万円（耐震改修を行う場合は650万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）								
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
			住宅耐震・リフォーム支援事業の利子補給件数		件	1	3	24			
項目評価			高 → 低		評価の理由						
			4	3						2	1
有効性			●								
効率性				●							
公平性				●							
事業の課題 今後の方向性			平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して、市の利子補給が終了する予定である令和8年度まで事業を継続する必要があるために今後も必要な事業です。					事業終了の 予定の有無			
								有 (令和8年度)			
特記事項			平成21年度から平成23年度に実施した事業で、現在は市が利子補給のみを行っています。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010203

事業名			住宅リフォーム促進事業		担当部署	都市建設部 建築指導課		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		14,913	11,763	14,013	有効性 公平性 効率性		A
	(A)の内訳	国道支出金	1,458		972			
		地方債						
		その他						
		一般財源	13,455	11,763	13,041			
	人件費(B)		715	715	715			
事業費計(A+B)		15,628	12,478	14,728				
事業の目的			住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民が快適な住生活を営むための住宅リフォームを支援することを目的とし、木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、木造住宅の耐震改修等の費用の負担を軽減し、耐震化を促進すること目的としています。					
事業の内容			SDGs17の目標 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 1 住宅耐震・リフォーム支援事業 住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助します。（融資限度額500万円（耐震改修又は省エネ改修を行う場合650万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。） 2 木造住宅耐震改修等補助金交付事業 耐震診断や耐震改修工事の負担を軽減し、住宅の耐震化を促進するための費用の一部を補助金として助成します。（耐震診断又は耐震設計を行なう場合は10万円を上限に、耐震改修を行う場合は60万円を上限に市が補助します。）					
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
			住宅耐震・リフォーム支援事業の利子補給件数		件	80	91	89
			木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用件数		件	0	0	0
項目評価			高 → 低		評価の理由			
			4	3				
有効性			●			住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、令和5年度も予定する融資工事額に達している。市民及び市内リフォーム請負業者において広く求められる事業であることから、「4」としました。		
効率性				●		令和5年度の事業では、約2億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約1,200万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。		
公平性			●			融資を必要とし申し込み要件を満たす市民の全てを受け付けることができ、また、事業施工者へ多大な波及効果も見込めることから、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性			住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、地域経済への波及効果も大きいことから、今後も事業を実施していきたいと考えています。 木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、住宅の耐震改修等の促進を図るために必要な事業であることから、今後も事業を実施していきたいと考えています。					
			事業終了の 予定の有無					
			無					
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 01道路橋りょう維持費

事務事業番号 08020101

事業名		雪氷対策費		担当部署	都市建設部 維持課	
根拠法令		道路法				
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	有効性 公平性 効率性 総合評価 A
	予算・決算額(A)	600,000	565,266	400,000		
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他			100,000		
	一般財源	600,000	565,266	300,000		
人件費(B)	17,328	17,328	17,328			
事業費計(A+B)	617,328	582,594	417,328			
事業の目的		除雪や路面凍結等に伴う渋滞、スリップ、歩行困難などの交通障害を解消し、安全で快適な交通機能確保するため、車道及び歩道の除雪や凍結防止剤散布を行うものです。				
事業の内容 SDGs17の目標		11 住み続けられるまちづくりを 1 凍結防止剤等の購入 車道や歩道の凍結路面対策として、凍結防止剤やすべり止め砂の購入を行いました。 2 除雪作業業務 積雪量、雪質、路面状況、気象予報などの情報収集を行い、積雪量10cm以上を目安として除雪作業を行いました。 3 除雪車運行管理システムの運用 市民に除雪作業状況をわかりやすく伝えるため、ホームページ上で除雪車運行管理システムの一般公開を行いました。 また、作業が遅れている地域への除雪協力の要請を行い、作業時間の短縮を図りました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度
		除雪作業	回	25	31	47
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				市民の冬の暮らしを守るため、除雪作業は欠かすことができないため、「4」としました。
効率性		●				除雪車運行管理システムを活用し、作業が遅れている地域への除雪車の追加配置を行うなど、効率的な除雪作業を行い、作業時間の短縮を図っているため、「4」としました。
公平性			●			道路パトロールにより路面状況の把握のほか、気象予報などの情報収集により除雪作業を行っていることから、「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		この事業は市民生活に直結する重要な事業であるため、近年頻発している大雪に備え、除雪機械の台数確保や配置見直しなど、体制の強化に取り組んでまいります。				事業終了の 予定の有無 無
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020201

事業名		社会資本整備総合交付金事業（道路整備事業）		担当部署		都市建設部 維持課	
根拠法令							
予算・決算 （千円）	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)		95,828	93,899	101,358	有効性 公平性 効率性	A
	(A)の内訳	国道支出金	54,000	54,000	56,100		
		地方債	12,400	12,400	15,600		
		その他					
		一般財源	29,428	27,499	29,658		
	人件費(B)		7,151	7,151	7,151		
事業費計(A+B)		102,979	101,050	108,509			
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安全な道路交通網を確保します。					
事業の内容		【舗装修繕】 老朽化した舗装の修繕を実施しました。 (着工前) (完 成) SDGs17の目標  【道路附属物点検】 道路照明の点検を実施しました。 					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		道路の改築・修繕		路線(km)	1路線(0.2km)	1路線(0.2km)	3路線(0.8km)
		道路附属物点検		基	1,010	248	124
項目評価		高 → 低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				老朽化が進む道路施設を計画的に改築・修繕を行うことで安全で円滑な道路交通を確保することができることから、「4」としました。	
効率性			●			道路を維持するには高額な事業費が必用となるため、整備効果と経済的なバランスを図り、効率的な事業推進に取り組んでいることから、「3」としました。	
公平性		●				幹線に位置付けられる道路は公共性が高く、市民の生活や経済活動に欠かせない重要な公共施設であり、市民に限らず多くの人に利用されることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号

08020202

事業名		単独道路舗装事業		担当部署		財政部 管財課、都市建設部		道路建設課	
根拠法令		道路法、苫小牧市道路の構造の技術的基準に関する条例							
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)		585,787	584,153	447,300	有効性 公平性 効率性		A	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債	527,100	525,500	402,500				
		その他							
		一般財源	58,687	58,653	44,800				
	人件費(B)		49,801	49,801	49,801				
事業費計(A+B)		635,588	633,954	497,101					
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、主に生活道路における未舗装道路を対象に、安全・安心な道路交通網を確保します。							
事業の内容		未舗装道路の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路を整備しました。							
SDGs17の目標		9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 【整備前】 【整備後】							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		未舗装道路の整備			路線(km)	25路線(3.4km)	27路線(4.0km)	32路線(4.0km)	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				未舗装道路を計画的に整備することにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから、「4」としました。			
効率性			●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから、「3」としました。			
公平性		●				まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的にかなった事業が展開できています。本事業は、まちかどミーティングなど地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に整備を進めてまいります。						事業終了の 予定の有無	
								無	
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020203

事業名			単独道路新設改良事業		担当部署	都市建設部 維持課			
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)		756,019	708,098	685,000	有効性 公平性 効率性		A	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債	572,100	528,600	483,600				
		その他							
		一般財源	183,919	179,498	201,400				
	人件費(B)		17,878	17,878	17,878				
事業費計(A+B)		773,897	725,976	702,878					
事業の目的			社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮し、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、改築・修繕を行い安全・安心な交通道路網を確保します。						
事業の内容									
SDGs17の目標									
9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを			1区画線標示業務：磨耗・剥離した区画線の再標示 2アスファルト舗装補修業務：路面に生じた穴などの損傷をパッチングにより部分的に補修 3道路清掃業務：人力による歩道や中央分離帯等の清掃 4道路施設補修業務：雨水桝の設置、縁石等道路付属物の補修・改良 5舗装道路改修工事：舗装、縁石などの老朽化した道路施設を全面的に改修 6舗装道路修繕工事：老朽化した舗装の表層部を全面的に修繕 7道路附属物修繕工事：自立式道路照明灯の更新 8街路灯LED化改修工事：水銀灯やナトリウム灯の街路灯をLED照明に改修 9調査・設計業務：地質調査、路面調査（非破壊）、設計業務						
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
			老朽化した舗装道路の改修		km	4	6	8	
項目評価			高 → 低		評価の理由				
			4	3	2	1			
有効性			●				老朽化が進む道路施設を計画的に改築・修繕を行うことで安全で円滑な道路交通を確保することができることから、「4」としました。		
効率性				●			道路を維持するには高額な事業費が必用となるため、整備効果と経済的なバランスを図り、効率的な事業推進に取り組んでいることから、「3」としました。		
公平性			●				生活道路は市民の生活に密着する公共施設であり、地域住民に必要とされる施設でことから、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性			項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。						事業終了の 予定の有無
									無
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

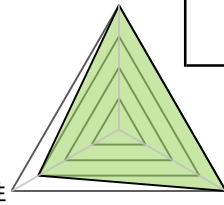
款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号

08020204

事業名		特定防衛施設周辺調整交付金事業		担当部署		都市建設部 維持課					
根拠法令											
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)		87,571	87,571	90,000	有効性  公平性 効率性		A			
	(A)の内訳	国道支出金	48,000	48,000	43,000						
		地方債	28,100	28,100	33,700						
		その他									
		一般財源	11,471	11,471	13,300						
	人件費(B)		3,576	3,576	3,576						
	事業費計(A+B)		91,147	91,147	93,576						
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。									
事業の内容		【防雪柵設置】 風雪による視程障害や吹きだまりにより、通行が困難になる道路に防雪柵を設置しました。 (設置前)  (設置後)  【実施設計業務】 老朽化した舗装の修繕を実施しました。 (着工前)  (完 成) 									
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度					
	防雪柵		m	46	40	60					
	勇払川西通道路改修工事		m	125	-	-					
項目評価	高 → 低		評価の理由								
	4	3							2	1	
	有効性	●				風雪による視程障害や吹きだまりを防止し、安全で円滑な交通を確保することができることから、「4」としました。					
	効率性	●				整備効果は大きく、効率的な事業推進に取り組んでいることから、「4」としました。					
	公平性		●			事業の対象地区が郊外で一部の地域に限定されていることから、「3」としました。					
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。						事業終了の 予定の有無			
								無			
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

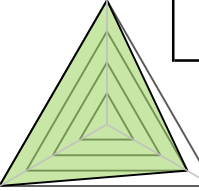
款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号

08020205

事業名		単独道路交通安全対策事業			担当部署	都市建設部 道路建設課、教育部 学校教育課						
根拠法令		道路法										
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	有効性  公平性 効率性						
	予算・決算額(A)	56,980	56,980	18,358								
	(A)の内訳											
	国道支出金											
	地方債	51,200	51,000	16,500								
	その他											
	一般財源	5,780	5,980	1,858								
人件費(B)	9,296	9,296	9,296									
事業費計(A+B)	66,276	66,276	27,654									
事業の目的		市内各小中学校の通学路危険箇所について、対策等を行います。										
事業の内容		小学校指定通学路の交通安全対策 横断歩道のカラー化や防護柵設置などを実施しました。 SDGs17の目標  9 産業と技術革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを 【整備前】  【整備後】 										
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度						
		小学校指定通学路の交通安全対策	校	6	5	3						
項目評価		高 → 低	評価の理由									
		4 3 2 1										
		有効性						●				車両速度抑制対策をはじめとする交通安全対策を実施することにより、通学路の安全・安心な通行が確保できることから、「4」としました。
		効率性							●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから、「3」としました。
公平性	●				通学路を通行する児童のみならず、沿線住民など歩行者全体の安全・安心な通行が確保できることから、「4」としました。							
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的にかなった事業が展開できています。本事業は、通学路の交通安全対策として非常に有効であることから、今後も引き続き、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。					事業終了の 予定の有無					
							無					
特記事項												

事務事業評価（主要事業レビュー）

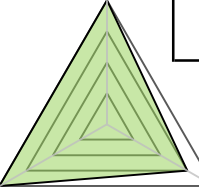
款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号

08020206

事業名		再編関連訓練移転等交付金事業（道路整備事業）		担当部署	都市建設部 道路建設課	
根拠法令		道路法				
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	20,812	20,812	-	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	20,000	20,000			
	地方債					
	その他					
	一般財源	812	812			
人件費(B)	4,291	4,291	-			
事業費計(A+B)	25,103	25,103	-			
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や、新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。				
事業の内容 SDGs17の目標		未舗装道路の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路を整備しました。 【整備前】  【整備後】 				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				未舗装道路を計画的に整備することにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから、「4」としました。
効率性			●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから、「3」としました。
公平性		●				地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的にかなった事業が展開できています。本事業は、地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。				事業終了の 予定の有無 有 (令和5年度)
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号

08020207

事業名		道路メンテナンス補助事業		担当部署		都市建設部 道路建設課		
根拠法令		道路法						
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)		628,000	625,667	458,000	有効性 公平性 効率性 A		
	(A)の内訳	国道支出金	337,200	337,200	187,800			
		地方債	237,200	236,700	221,400			
		その他						
		一般財源	53,600	51,767	48,800			
	人件費(B)		26,790	26,790	26,790			
事業費計(A+B)		654,790	652,457	484,790				
事業の目的		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や、新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む橋梁の健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。						
事業の内容		橋梁長寿命化 事後対応型の管理から予防保全型の管理へ転換することで、架け替えなどにかかるライフサイクルコストの縮減を図りました。						
SDGs17の目標		9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 【整備前】 【整備後】						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度
		橋梁長寿命化・耐震補強			橋	3	1	3
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				老朽化が進む橋梁を計画的に改築・修繕を行うことで、安全・安心な道路交通網が確保できることから、「4」としました。		
効率性			●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから、「3」としました。		
公平性		●				すべての利用者にとって、安全・安心な道路交通網が確保できることから、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的にかなった事業が展開できています。本事業は、市民の安全・安心な道路交通網を確保する手段として非常に有効であることから、今後も引続き、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。						事業終了の 予定の有無
								無
特記事項		決算額については、道路メンテナンス補助事業【繰越明許】の事業費を含んでいます。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 03河川費

目 02河川改良費

事務事業番号 08030201

事業名			単独事業（河川整備事業）		担当部署	都市建設部 維持課		
根拠法令			河川法、苫小牧市普通河川管理条例					
予算・決算 （千円）	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		238,113	236,062	200,000	有効性 公平性 効率性		A
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債	210,300	208,100	158,600			
		その他						
		一般財源	27,813	27,962	41,400			
	人件費(B)		26,176	26,176	26,176			
事業費計(A+B)		264,289	262,238	226,176				
事業の目的			安全・安心な市民生活を確保するため、河川管理施設の保全や環境整備を実施することにより、老朽化した護岸の改良や水辺に親しめる施設整備を行います。					
事業の内容			1 護岸改良工事 河川の増水時に、隣接する道路などの崩壊を招く恐れがあるため、老朽化した護岸を改良します。					
SDGs17の目標			9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを					
			整備前 整備後					
			整備前 整備後					
実施結果 （活動指標）			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
			護岸改良		河川	4	4	5
			環境整備		河川	1	2	2
項目評価			高 → 低		評価の理由			
			4	3	2	1		
有効性			●				集中豪雨などによる浸水被害などを防止・軽減し、緑豊かな水辺空間を創出するなど、市民の安全・安心な生活に大きく寄与していることから、「4」としました。	
効率性			●				河川等の規模に応じて必要な機能を確保することはもとより、経済的な整備方法を検討して事業展開していることから、「4」としました。	
公平性			●				河川周辺の居住者や利用者などの要望を踏まえ、パトロールを実施し、老朽化等への対策の要否や重要度を判断したうえで事業を展開していることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性			評価のとおり概ね目的に適った事業を展開できています。 今後も引続き、護岸整備や河道しゅんせつなどを行い、河川の流下能力を確保するとともに、水辺に親しめる施設整備を行うことで、より一層の安全・安心で身近な河川となるよう整備を進めてまいります。					
			事業終了の 予定の有無					
			無					
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 01都市計画総務費

事務事業番号 08040101

事業名		地籍調査事業		担当部署	都市建設部 開発管理課		
根拠法令		国土調査法					
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)		13,192	13,115	14,431	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳	国道支出金	7,716	7,716	8,897		
		地方債					
		その他					
		一般財源	5,476	5,399	5,534		
	人件費(B)		11,442	11,442	11,442		
事業費計(A+B)		24,634	24,557	25,873			
事業の目的		国土調査法に基づき当該地籍調査を効率的に進めるため、先行的に街区境界調査を行い、道路や水路等（以後、長狭物）と接する土地について所有者や地番の調査を行うとともに、その土地と長狭物とが接する部分の境界に関する測量を行い、成果については法務局に送付します。また、地籍調査で得られた成果については、大規模災害から迅速に復旧・復興を図る上で有効に活用されるほか、課税の適正化及び公共事業や土地取引を円滑に進めるためなどに利用されます。					
事業の内容		SDGs17の目標					
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを		1 永福町及び日吉町2・3丁目の各一部地区の地籍調査（街区境界調査）を開始し、土地に関する資料を基に現況調査を行い、現地で各地権者と土地の境界について確認するための資料を作成しました。 2 地籍調査について、市民周知を図るためにパンフレットを作成し、苫小牧市が管理する各施設で配布しているほか、永福町及び日吉町2・3丁目の各一部地区の地権者へ事業説明をする時に配布しております。					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		地籍調査事業（街区境界調査）		地区	1	1	1
					（永福町・日吉町調査開始）	（小糸井町調査完了）	（小糸井町調査開始）
		地籍調査実施地区内の地権者への事業説明		筆	803	112	112
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				本事業を進めることは、本地区で大規模災害がおこった場合などに事業成果を活用し迅速に復興・復旧を図ることができると考えていることから、「4」としました。	
効率性		●				公共基準点を活用するため新たな基準点を設置せずに測量が出来ることや、地権者や町内会へ、パンフレットを活用し直接説明することで地籍調査への理解が高まると考えていることから、「4」としました。	
公平性		●				調査対象区域を140地区に分け、調査の緊急性や必要性などに基づき全体計画を作成し、事業を進めていることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		事業の進捗状況についてはおおむね予定通りですが、今後地籍調査を円滑に進めるためには、地権者を含む住民理解が不可欠であることから、パンフレットやホームページなどを活用し地域住民などへ周知を図っていきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

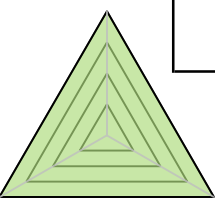
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040201

事業名		公園施設補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	75	74	-		A	
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	75	74				
人件費(B)	358	358	-				
事業費計(A+B)	433	432	-				
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等に伴う利用料金等の減収分について、補填を行います。					
事業の内容 SDGs17の目標		指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等における減収分を補填しました。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				指定管理者の減収分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから、「4」としました。	
効率性		●				指定管理者が安定した施設の維持・管理を行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。	
公平性		●				施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		臨時的な事業のため、今後の方向性は未定であるが、指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要です。					事業終了の 予定の有無 有 (令和5年度)
特記事項							

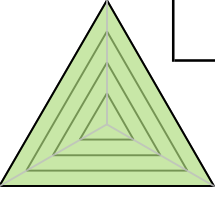
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040202

事業名		公園施設電気料金高騰支援補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	417	328	-	有効性  公平性 効率性	A	
	(A)の内訳						
	国道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	417	328				
人件費(B)	358	358	-				
事業費計(A+B)	775	686	-				
事業の目的		原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いていることから指定管理施設の電気料金の不足分について、補填を行います。					
事業の内容 SDGs17の目標		指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いていることから、電気料金の不足分について補填しました。					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3				2
		有効性	●				指定管理者の不足分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから、「4」としました。
		効率性	●				指定管理者が安定した施設の維持・管理を行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。
公平性	●				施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		臨時的な事業のため、今後の方向性は未定であるが、指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要です。				事業終了の 予定の有無	
						有 (令和5年度)	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040203

事業名		オートリゾートセンターハウス・温浴施設等電気料金高騰支援補償金			担当部署	都市建設部 緑地公園課			
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価				
	予算・決算額(A)	1,931	892	-	A				
	(A)の内訳								
	国道支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	1,931	892						
人件費(B)	358	358	-						
事業費計(A+B)	2,289	1,250	-						
事業の目的		原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いていることから指定管理施設の電気料金の不足分について、補填を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標		指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いていることから、電気料金の不足分について補填しました。							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価		高 → 低	評価の理由						
		4	3	2	1				
	有効性	●				指定管理者の不足分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから、「4」としました。			
	効率性	●				指定管理者が安定した施設の維持・管理を行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。			
	公平性	●				施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		臨時的な事業のため、今後の方向性は未定であるが、指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要です。					事業終了の 予定の有無 有 （令和5年度）		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040301

事業名		社会資本整備総合交付金事業（公園整備事業）		担当部署		都市建設部 緑地公園課		
根拠法令		都市公園法						
予算・決算 （千円）	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)		239,116	238,339	309,553	有効性 公平性 効率性	A	
	(A)の内訳	国道支出金	112,610	112,405	141,120			
		地方債	95,900	95,600	139,900			
		その他						
		一般財源	30,606	30,334	28,533			
	人件費(B)		13,587	13,587	13,587			
事業費計(A+B)		252,703	251,926	323,140				
事業の目的			潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出し、誰もが安全・安心に利用できる公園の整備を進めます。					
事業の内容 SDGs17の目標			社会資本整備総合交付金を活用し、老朽化した施設の更新や園路整備、トイレのバリアフリー化を行いました。 【改修前】 【改修後】					
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
			公園再整備数		か所	9	12	6
項目評価			高 → 低				評価の理由	
			4	3	2	1		
有効性			●				公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されるため、「4」としました。	
効率性			●				公園の再整備には多額の費用を要するが、計画的に実施することでライフサイクルコストの縮減が図られるため、「4」としました。	
公平性			●				市内一円の老朽化が進行している公園から順次、再整備を進めており、地域を限定せずに安全・安心に利用できる公園環境を確保しているため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性			項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できていますが、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

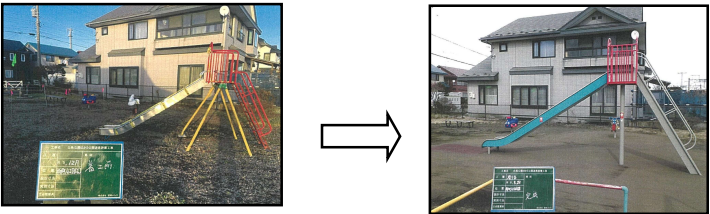
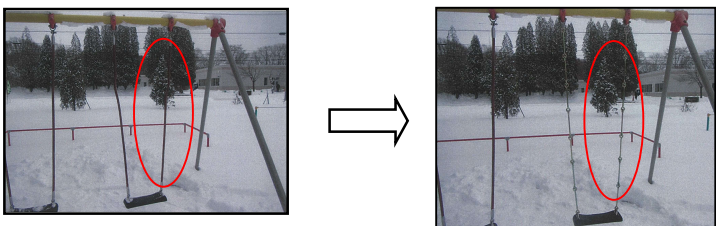
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040302

事業名		単独事業（公園整備事業）		担当部署		都市建設部 緑地公園課		
根拠法令		都市公園法						
予算・決算 （千円）	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)		93,584	89,832	54,984	有効性 公平性 効率性 A		
	(A) の内訳	国道支出金						
		地方債	45,000	44,700	21,800			
		その他	8,100	6,910	5,000			
		一般財源	40,484	38,222	28,184			
	人件費(B)		8,581	8,581	8,581			
事業費計(A+B)		102,165	98,413	63,565				
事業の目的		市民の憩いやコミュニティ活動などの場を創出するため、公園施設の更新・補修を計画的に行い、誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行います。						
事業の内容		公園施設の更新・補修を行いました。						
SDGs17の目標		1. 遊具更新						
								
		2. 遊具補修 （部材の補修）						
								
実施結果 （活動指標）		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度
		遊具更新基数			基	8	12	11
		遊具補修工事			公園	54	25	35
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				公園施設の更新・補修を行うことは、誰もが安全・安心に公園を利用するためには必要な事業であるため、「4」としました。		
効率性			●			点検結果に基づき更新・補修を行っているが、一部使用中止の措置を行っている遊具があるため、「3」としました、		
公平性		●				市内全域において、更新及び補修を行っているため、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		本事業は、誰もが安全・安心に公園を利用するために継続的に実施していく必要があるが、今後老朽化の公園施設の増加が見込まれるため、さらなる維持管理費抑制に取り組む必要があると考えています。						事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040303

事業名			空港周辺環境対策事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令			都市公園法							
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)		17,842	17,842	-	有効性 公平性 効率性 A				
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他	14,069	14,069						
		一般財源	3,773	3,773						
	人件費(B)		5,721	5,721	-					
事業費計(A+B)		23,563	23,563	-						
事業の目的			空港騒音の影響を受ける住民の生活環境等の改善を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標			北海道エアポート株式会社助成金を活用し、老朽化した遊具等の更新を行い、公園利用者の安全・安心を確保しました。							
11 住み続けられるまちづくりを			【改修前】		【改修後】					
										
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
			公園再整備数		か所	1	2	1		
項目評価			高 → 低		評価の理由					
			4	3					2	1
有効性			●						公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されるため、「4」としました。	
効率性			●						公園の再整備には多額の費用を要するが、計画的に実施することでライフサイクルコストの縮減が図られるため、「4」としました。	
公平性				●					本事業については、対象地域が限定されていることから、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性			項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できていますが、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。							
			事業終了の 予定の有無							
			無							
特記事項			北海道エアポート株式会社助成金を活用した空港周辺環境対策事業は、R5年度で一旦終了しますが、R6年度以降は「勇の原公園整備事業」として継続します。							

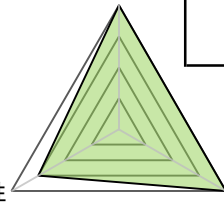
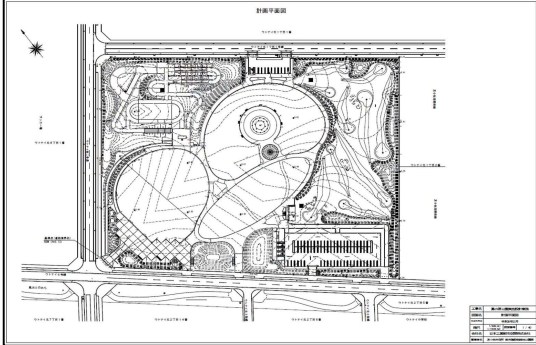
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040304

事業名		再編関連訓練移転等交付金事業（公園整備事業）		担当部署		都市建設部 緑地公園課		
根拠法令		都市公園法						
予算・決算 （千円）	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		47,156	47,155	32,000	有効性  公平性 効率性		A
	(A)の内訳	国道支出金	46,450	46,450	27,700			
		地方債			3,800			
		その他						
		一般財源	706	705	500			
	人件費(B)		6,436	6,436	6,436			
事業費計(A+B)		53,592	53,591	38,436				
事業の目的		地域住民の健康増進等の場となる勇払ファミリー公園の機能を継続します。また、ウトナイ地区の人口増加に伴い、新規公園整備を強く望まれていることから、地区公園「勇の原公園」の整備を進めます。						
事業の内容		勇払ファミリー公園のパークゴルフ場施設を継続的に利用できるよう、再編関連訓練移転等交付金を活用し、約0.5haの用地を取得しました。また、令和6年度から整備を進める勇の原公園について、地質調査と実施設計を行いました。						
SDGs17の目標		 【取得用地】  【勇の原公園計画平面図】 						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度
		用地取得面積			ha	0.5	0.5	－
		勇の原公園整備				実施設計	－	－
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				用地取得により、パークゴルフ場施設の継続的な利用や地域住民の健康増進等に効果が得られ、実施設計は地域要望を反映した内容となったことから、「4」としました。		
効率性		●				事業実施により、将来にわたってその効果が得られることから、「4」としました。		
公平性			●			本事業については、対象地域が限定されていることから、「3」としました。		
事業の課題 今後の方向性		勇の原公園整備は、地域から早期完成を望まれています。事業費が大きく、長期の整備期間を要します。このため、再編関連訓練移転等交付金を財源の一つとして活用し、早期完成に向けて進めていきたいと考えています。						事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040401

事業名		森林整備事業		担当部署		都市建設部 緑地公園課	
根拠法令		森林法					
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)		6,682	5,492	7,532	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳	国道支出金	2,600	1,983	2,460		
		地方債					
		その他	2,292	2,176	3,400		
		一般財源	1,790	1,333	1,672		
	人件費(B)		1,366	1,366	1,366		
事業費計(A+B)		8,048	6,858	8,898			
事業の目的		市民の身近な森林である高丘森林公園のレクリエーション施設を維持するほか、市内の森林において、二酸化炭素の吸収や国土の保全など多面的機能を発揮させることを目的とします。					
事業の内容		1 高丘森林公園修繕工事 園路の階段を修繕しました。					
SDGs17の目標		2 苫小牧市豊かな森づくり推進事業 森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林所有者へ伐採後の造林に対し助成を行いました。					
		【高丘森林公園修繕工事】  ⇒  着工前 完成 【豊かな森づくり推進事業】  造林後					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		高丘森林公園修繕			階段	階段	便所・階段
		苫小牧市豊かな森づくり推進事業		ha	13	11	14
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				高丘森林公園整備や造林に対する助成の取組は、森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。	
効率性		●				造林は森林経営計画に基づき適切に実施されていることから、「4」としました。	
公平性		●				森林の有する多面的機能は市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		目的に沿った事業を実施し、森林の持つ多面的機能の発揮に寄与していることから、引き続き適正な森林施策に取り組んでいく必要があると考えています。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040402

事業名			緑の基本計画事業		担当部署		都市建設部 緑地公園課			
根拠法令			都市緑地法							
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)		6,800	6,197	7,200	有効性 公平性 効率性		A		
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他	4,300	3,738	4,700					
		一般財源	2,500	2,459	2,500					
	人件費(B)		2,162	2,162	2,162					
事業費計(A+B)		8,962	8,359	9,362						
事業の目的			緑地の保全及び緑化の推進に関して定めた「緑の基本計画」に基づき、緑のまちづくりにおいて町内会やボランティア団体が行う緑化への助成など、緑化の保全と推進を目的とします。							
事業の内容			1 町内会等緑化推進事業・緑化推進基金活用事業 町内会や緑化活動団体に対して、緑化資材の提供や助成を行いました。							
SDGs17の目標			2 市民植樹祭準備業務 市民参加の植樹祭を開催するにあたり、植樹の準備を行いました。							
11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう			3 樹木リサイクル事業 伐採した街路樹を活用し、ペン立てを制作しました。							
			【緑化推進基金活用事業】		【市民植樹祭】		【樹木リサイクル事業】			
										
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
			町内会等緑化推進事業、緑化推進基金活用事業		団体	28	22	24		
			市民植樹祭準備業務（植樹本数）		本	130	151	335		
			樹木リサイクル事業			ペン立て	コースター	ペン、花台		
項目評価			高 → 低		評価の理由					
			4	3	2	1				
有効性			●				花や緑を通じて地域の人々の繋がりと本市の環境美化に貢献する取組であり、また、持続可能な樹木の活用を伝える有効的な事業であるため、「4」としました。			
効率性			●				資材や木材の製材化には費用を要しますが、市民参加の活動であり、また木材は持続可能な資源であることから、「4」としました。			
公平性			●				市民が自由に参加できる取組であり、分け隔てなく事業を実施したことから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性			目的に沿った事業を進めることができおり、引き続き緑化の保全と推進に取り組んでいきたいと考えています。						事業終了の 予定の有無	
									無	
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040403

事業名			市有林整備事業		担当部署		都市建設部 緑地公園課					
根拠法令			森林法									
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)		10,751	10,751	7,960	有効性 公平性 効率性 A						
	(A)の内訳	国道支出金	7,052	7,054	5,100							
		地方債										
		その他	3,699	3,697	2,860							
		一般財源										
	人件費(B)		1,366	1,366	1,366							
事業費計(A+B)		12,117	12,117	9,326								
事業の目的			本事業は、森林はゼロカーボンシティの実現に向けた貴重な二酸化炭素の吸収源であるほか、木材などの物質生産機能や国土の保全など多面的な機能を有していることから、市有林を守り、育て、活かすために整備するものです。									
事業の内容			1 美沢市有林造林業務 A=10ha									
SDGs17の目標			2 美沢市有林下刈業務 A=10ha									
11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう			3 美沢市有林地拵業務 A=6ha									
			4 森林の保育（野ねずみ駆除） A=66ha									
			【美沢市有林造林業務】		【美沢市有林下刈業務】		【美沢市有林地拵業務】					
												
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度				
			森林施業(造林・下刈・地拵)		ha	26	10	-				
			森林保育(野ねずみ駆除)		ha	66	56	56				
項目評価			高 → 低		評価の理由							
			4	3						2	1	
有効性			●									市有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。
効率性			●									市有林の森林経営計画に基づき着実に行われたことから、「4」としました。
公平性			●				森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性			目的に沿った事業を展開できていることから、引き続き、計画的に着実に取り組んでいく必要があると考えています。					事業終了の 予定の有無				
								無				
特記事項												

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号

08040404

事業名		森林環境譲与税基金積立金		担当部署		都市建設部 緑地公園課		
根拠法令		苫小牧市森林環境譲与税基金条例						
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)		44,015	43,740	55,020	有効性 公平性 効率性 A	A	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	15	8	20			
		一般財源	44,000	43,732	55,000			
	人件費(B)		358	358	358			
事業費計(A+B)		44,373	44,098	55,378				
事業の目的		森林の整備に関する施策や、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する多面的機能に関する普及啓発など、森林の整備の促進に関する施策の費用に充てることを目的に、譲与される森林環境譲与税を基金に積み立てます。						
事業の内容 SDGs17の目標		11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 令和4年度末基金残高 92,795,986円 令和5年度基金積立金 43,740,208円 令和5年度基金取崩し額 8,845,505円 令和5年度末基金残高 127,690,689円						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		基金の年度末残高		千円	127,691	92,796	65,411	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3					2
有効性		●			温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備の推進に活用する基金であることから、「4」としました。			
効率性		●			譲与金を計画的に将来の事業に充てることができるため、「4」としました。			
公平性		●			災害に強い森林への整備に充てていく基金であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		森林施業に必要な額が定まらないため、森林施業以外の事業にほぼ充当していません。 モデル地区による検証後速やかに森林施業に必要な額を算出し、森林の有する公益的機能に関する普及啓発や木材利用の促進などにも充当できるようにしていきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

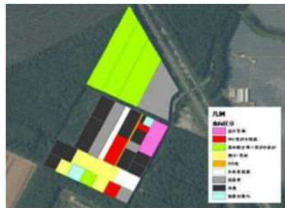
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040405

事業名		森林環境譲与税基金活用事業		担当部署		都市建設部 緑地公園課	
根拠法令		森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林経営管理法					
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)		4,224	4,182	6,400	有効性 公平性 効率性 A	
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	4,224	4,182	6,400		
		一般財源					
	人件費(B)		5,272	5,272	5,272		
事業費計(A+B)		9,496	9,454	11,672			
事業の目的		森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に規定する森林の整備及びその促進に関する施策に要する経費の財源に充てるために設置された苫小牧市森林環境譲与税基金を有効に活用することを目的とします。					
事業の内容		1 森林経営管理権集積業務 経営管理されていない森林の整備に向け、森林経営管理制度に基づき調査した森林所有者の意向を基に、経営管理権を集積する準備をしました。 2 木育助成事業 木育活動を行う団体に対し、助成を行いました。					
11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう		【森林経営管理権集積業務】  【木育助成事業】  樹液採取  ウッドクラフト					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
		森林経営管理（意向調査）		筆	6	31	－
		森林経営管理（経営管理権集積）		筆	6	－	－
		木育助成事業		団体	2	－	－
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				民有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。	
効率性			●			森林経営管理法に基づく事業は、モデル地区において検証しながら実施しているため、今後より効率よくできると思われることから、「3」としました。	
公平性		●				森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		森林経営管理法に基づく事業は、森林所有者の意向により事業内容が決まるため、精度の高い意向調査が必要ですが、回答がなかったり、郵便物が届かなかったり、所有者が不明であったりと、意向が確認できないことがあります。 森林所有者の意向を確実に確認するため、他市町村の先行事例も参考に実施したいと考えています。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040406

事業名			緑化推進基金積立金			担当部署		都市建設部 緑地公園課			
根拠法令			苫小牧市緑化推進基金条例								
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)		318	318	1,474	有効性 公平性 効率性		A			
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他	318	318	1,474						
		一般財源									
	人件費(B)		1,073	1,073	1,073						
事業費計(A+B)		1,391	1,391	2,547							
事業の目的			本市の緑化を推進する事業等に必要な経費の財源に充てるため、寄附金や市有林の立木売却収入を積み立てます。								
事業の内容			SDGs17の目標								
11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう			令和4年度末基金残高95,536,011円 令和5年度基金積立金317,506円 令和5年度基金取崩し額7,426,282円 令和5年度末基金残高88,427,235円								
実施結果(活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
			基金の年度末残高		千円	88,427	95,536	90,648			
項目評価			高 → 低		評価の理由						
			4	3	2	1					
有効性			●				温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備や花植え等の環境美化活動の財源に充てており、安全・安心で、美しいまちづくりに寄与していることから、「4」としました。				
効率性			●				寄附金などを効率的に将来の事業に充てることができるため、「4」としました。				
公平性			●				温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備やまちの環境美化の財源に充てている事業であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性			木材売却と寄附金により成り立っている基金であり、安定的な積立金が見込めないことから、収支のバランスに配慮して事業を進めていくことが肝要であると考えます。						事業終了の 予定の有無		
									無		
特記事項											

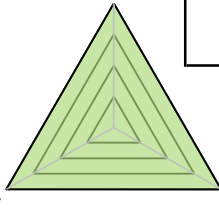
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 01住宅管理費

事務事業番号 08050101

事業名		集会所電気料金高騰支援補償金		担当部署	都市建設部 住宅課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	240	142	-	有効性		A	
	(A)の内訳							
	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	240	142					
人件費(B)	358	358	-	公平性	効率性			
事業費計(A+B)	598	500	-					
事業の目的		原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げに伴い、不足する額を指定管理者に補填します。						
事業の内容 SDGs17の目標		 集会所電気料金高騰支援補償金の支払いを行いました。 1 青葉大成地区集会所 42,963円 2 末広町集会所 14,273円 3 明徳団地集会所 54,735円 4 日新町集会所 27,957円 5 光洋町集会所 1,944円						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度		
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
		有効性	●				電気料金高騰に対する支援として効果があるため、「4」とします。	
		効率性	●				電気料金値上げ分を直接補償するものであるため、「4」とします。	
公平性		●				市営住宅入居者全体が利用する集会所の運営に対する支援であり、「4」とします。		
事業の課題 今後の方向性		集会所の運営は安定的に継続できており、本事業の効果は発揮されているものと考えます。今後も引き続き、電気料金等の動向を注視していきます。					事業終了の 予定の有無	
							有 (令和5年度)	
特記事項								

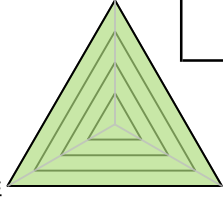
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050201

事業名		住宅建設事業【継続事業】		担当部署	都市建設部 住宅課			
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法						
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	1,754,304	1,738,861	1,764,788	有効性  公平性 効率性	A		
	(A)の内訳							
	国道支出金	837,976	831,360	695,236				
	地方債	824,300	819,600	922,500				
	その他		1,600					
	一般財源	92,028	86,301	147,052				
人件費(B)	14,926	14,926	14,926					
事業費計(A+B)	1,769,230	1,753,787	1,779,714					
事業の目的		市営住宅の老朽化に伴い、建替え等による住環境の整備が急務となっている中で、少子高齢化の進行や人口減少など社会情勢の変化に配慮しながら、良質で快適な生活を営める住環境を整備します。						
事業の内容 SDGs17の目標		 1 日新団地における新築住宅の建設・既存住宅の解体等 (1) 日新団地の8棟目（日新町4-11-20 新12号棟5F60戸）が完成し、供用開始するとともに、9棟目（新2号棟3F24戸）の建設に着手しました。 (2) 日新町4-4-1、4、5（計100戸）の解体を行いました。 2 日新団地における新築及び解体実施設計 (1) 令和6年度に着工予定の日新団地新1号棟（3F24戸）の新築実施設計を行いました。 (2) 令和6年度に解体予定の日新町4-4-7（30戸）の解体実施設計を行いました。 3 末広団地における解体実施設計 (1) 令和6年度から解体予定の末広町1-12-1（13F294戸）の解体実施設計を行いました。						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		建設住宅		戸	60	30	60	
		解体住宅		戸	100	80	100	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
		有効性	●				建替事業の実施は、老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が同時に実現するなど即効性が高く効果的であるため、「4」とします。	
		効率性	●				財源として国庫補助や地方債を最大限活用して事業を実施しているため、「4」とします。	
		公平性	●				建替え等の計画や、今後の目標管理戸数を「苫小牧市営住宅整備計画」として公表し、市民の理解を得られているため、「4」とします。	
事業の課題 今後の方向性		建替事業は概ね計画どおりに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られ、国費の効果的活用も図っています。今後の社会情勢の変化を見据えた適正な管理戸数に向け、各事業を着実に実施していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050202

事業名			除却事業		担当部署	都市建設部 住宅課		
根拠法令			公営住宅法、住宅地区改良法					
予算・決算 (千円)	区 分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)		32,107	27,777	33,664	有効性 公平性 効率性		A
	(A)の内訳	国道支出金	813	709	13,353			
		地方債	900	800	13,100			
		その他		26,268				
		一般財源	30,394		7,211			
	人件費(B)		3,576	3,576	3,576			
	事業費計(A+B)		35,683	31,353	37,240			
事業の目的			安全面や今後の用地活用の観点から、老朽化が著しい市営住宅について、計画的な用途廃止・除却を行います。					
事業の内容 SDGs17の目標			11 住み続けられるまちづくりを 既存住宅の除却に伴う入居者移転先の修繕を実施しました。					
実施結果 (活動指標)			指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
			除却住宅		戸	0	0	116
項目評価			高 → 低		評価の理由			
			4	3				
有効性			●			除却事業の実施により、老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が図られているため、「4」とします。		
効率性			●			国庫補助や地方債の対象となる事業についてはそれらの財源を最大限活用して実施しているため、「4」とします。		
公平性			●			安全性の確保及び老朽化した住宅の解消を基本方針として除却対象の住宅を設定し、今後の計画を公表しているため、「4」とします。		
事業の課題 今後の方向性			除却事業は概ね計画通りに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られています。国費を効果的に活用するとともに、地域や入居者等の状況の変化と事業計画との整合を適宜図りながら、円滑に事業を進めていきます。					事業終了の 予定の有無
								無
特記事項								

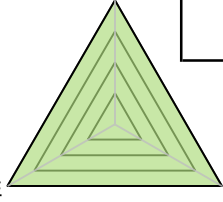
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050203

事業名		住宅改善事業		担当部署	都市建設部 住宅課		
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法					
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	633,148	630,137	271,346		A	
	(A)の内訳						
	国道支出金	262,114	262,114	93,845			
	地方債	261,700	261,900	114,600			
	その他		106,123				
	一般財源	109,334		62,901			
	人件費(B)	11,607	11,607	11,607			
事業費計(A+B)	644,755	641,744	282,953				
事業の目的		市営住宅の多くで老朽化が進む中、今後も維持管理していく住宅については、入居者が安全・安心に暮らせるよう、計画的な改善・改修工事を行い、建物の長寿命化を図っていきます。					
事業の内容 SDGs17の目標		 1 大成町市営住宅（1-11-1）西面外壁改修工事を行いました。（144戸） 2 山手町市営住宅（1-9-2）外部等改修工事を行いました。（24戸） 3 沼ノ端中央市営住宅（5-2-57）外部等改修工事を行いました。（30戸） 4 住吉町市営住宅（2-3-5）昇降機設備改修工事を行いました。（40戸）					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		改善・改修住宅	戸	238	90	156	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				今後も維持管理する住宅については、長寿命化計画に基づく改善事業を実施することにより、建物のライフサイクルコスト縮減に効果があるため、「4」とします。	
効率性		●				財源として国庫補助や地方債を最大限活用して事業を実施しているため、「4」とします。	
公平性		●				建物の長寿命化や安全性確保等の事業計画を「苫小牧市営住宅等長寿命化計画」として公表し、市民の理解を得られているため、「4」とします。	
事業の課題 今後の方向性		市営住宅の老朽化が進む一方で、今後も多くの住宅を健全な状態で維持管理していく必要があることから、計画に基づく各事業を着実に実施していきます。					事業終了の 予定の有無
							無
特記事項		決算額については、住宅改善事業【繰越明許】の事業費を含んでいます。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050204

事業名		熱供給設備等改修事業		担当部署	都市建設部 住宅課	
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法				
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	9,394	9,262	9,781		A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他		9,262			
	一般財源	9,394		9,781		
人件費(B)	2,860	2,860	2,860			
事業費計(A+B)	12,254	12,122	12,641			
事業の目的		地域暖房・給湯を採用している市営住宅は、建設からの経過年数によって建物同様、熱供給設備の老朽化も進んでいます。入居者が安全・安心に暮らせるよう、修繕工事を行い、ライフラインの維持に努めていきます。				
事業の内容 SDGs17の目標		 1 山手町ボイラープラント設備修繕工事を行いました。 (供給先) 山手町市営住宅 (2-9-1) 225戸 山手町市営住宅 (2-9-4) 40戸 2 大成町熱供給設備ポンプ修繕工事を行いました。 (供給先) 大成町市営住宅 (1-11-1) 144戸 大成町市営住宅 (1-14-4) 168戸 青葉町市営住宅 (1-5-1) 40戸 青葉町市営住宅 (1-5-2) 40戸 青葉町市営住宅 (1-5-3) 40戸				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度
		修繕対象	戸	697	737	891
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				設備の老朽化度合や不具合の状況を判断しながら実施しており、各住戸へ安定した暖房・給湯を行う効果があるため、「4」とします。
効率性			●			修繕工事により安定した暖房・給湯の供給が可能となるため、「3」とします。
公平性		●				市営住宅の今後の整備方針については「苫小牧市営住宅整備計画」として公表し、市民の理解を得られているため、「4」とします。
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり目的にかなった事業を実施しており、引き続きライフライン維持のために必要となる修繕を実施していきます。				
		事業終了の 予定の有無				
		無				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050205

事業名		日新団地熱源改修事業		担当部署	都市建設部 住宅課	
根拠法令		公営住宅法				
予算・決算 (千円)	区 分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	有効性 公平性 効率性	総合評価 A